

1.遠賀中間地域の医療機関と居宅介護支援事業所及び地域包括支援センター、訪問看護ステーション間で

「入退院時情報共有シート」「訪問看護要約」統一し、活用していることを知っていますか

A	①知っている
B	①知っている
C	①知っている
D	①知っている
E	①知っている(3)、②知らなかった(2)

2.入院時における『居宅介護支援事業所(又は地域包括支援センター)から医療機関へ』の、「入院時情報共有シート」の情報提供の実施について

	2-1)	2-2)③④⑤送付に至らなかった理由
A	①全ケースに実施している	
B	②概ね実施している	
C	②概ね実施している(1)、③半分程度は実施している(1)、④あまり実施していない(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関の方から要ると言われなかった為。 ・入院の連絡が連携室からなかったことや、必要と言われなかった為。要介護の場合は、情報提供することで加算が取れると思うが、要支援の方は病院側が取れても、こちらは取れない。TELのやり取りで充分と思われる時もある。 ・入院先からの要望なし。TELで連絡している。
D	②概ね実施している	
E	①全ケースに実施している(1)、②概ね実施している(2)、④あまり実施していない(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・情報提供を求められなければ、実施していない。

3.遠賀中間地域内の情報連携において、統一して運用している書式である「入院時情報共有シート」の使用について

	3-1)	3-2)「入院時情報共有シート」の運用に関することやその他意見
A	①統一書式を使用している	
B	①統一書式を使用している	
C	①統一書式を使用している	・CM側としたら、入院した病名や入院日、担当SWの名前が知りたい。病院側は介護保険の内容を知りたいと思う。うまく情報がとれると良いと思う。
D	①統一書式を使用している	
E	①統一書式を使用している(1)、②統一書式以外(事業所で作成したもの等)を使用している(4)	・①回答者→現状のままでよい。②回答者→基本情報、プラン等の提供を行っている。情報共有シートに記入する時間がない。

4.退院時における『医療機関から居宅介護支援事業所(又は地域包括支援センター)』への「退院時情報共有シート」による情報提供について

	4-1)	4-2-1)退院後の生活支援における「退院情報共有シート」の活用状況について	4-2-2)①②どんな点がどの様に役立っていますか・③④活用されにくい理由	4-2-3)運用に関することやその他意見
A	⑤ほとんど情報提供はない	④ほとんど活用できていない	・退院時、情報共有シートでの情報提供がない	・退院時情報共有シートを使用した情報提供はない。サマリーや電話連絡など何かしらの形で情報提供はあるので、退院後の生活支援に活用している。
B	②概ね情報提供がある	②まあまあ活用できている	・入院時の診断名が確認できる。またリハビリ、食事内容(カロリー)等の把握ができ、事業所へ情報共有ができる。	
C	②概ね情報提供がある(2)、⑤ほとんど情報提供はない(2)	①大いに活用できている(1)、②まあまあ活用できている(1)、④ほとんど活用できていない(2)	・役立っている→本人のADLの状態や疾患の事や予後についてケアプランに参考にしています。退院前カンファができないまま、新規担当になった方の入院中の様子がよくわかり、在宅で留意する点、プラン立案における目標、サービスの内容など検討課題となった。 ・活用されにくい→退院時は看護サマリーの為、情報共有シートの提供はない。病院からはサマリーを頂く。おんがHPはなし。他の病院もサマリーがほとんどです。	・退院時の処方内容が知りたい。在宅生活で気を付けなくてはいけない事、体位、動き方など詳しく知りたい。おんがHPからは、退院時要約がほぼありますが、おんがHPからは転院が多いことでもあります。直接退院した方の退院時情報共有シートというものを頂いたことはありません。一度ももらった事はありませんし、要望もしていない。
D	⑤ほとんど情報提供はない	②概ね情報提供がある	・入院時に出的食事、水分制限など。	
E	②概ね情報提供がある(2)、④あまり情報提供はない(1)、⑤ほとんど情報提供はない(2)	①大いに活用できている(1)、②まあまあ活用できている(2)、③あまり活用出来ていない(2)	・身体状況(ADL)の把握ができ、生活上の注意点が分かる。またサービスの選択ができる。 ・「退院時情報共有シート」の提供はほぼ無い。病院に依頼すれば看護サマリーを頂ける状況。	

5.在宅(自宅)から高齢者等施設(特養・老健・有料老人ホーム・グループホームなど)への入所時に、「情報提供」を何か行っていますか

	5-1)	5-1-i)①と答えた方 どんな内容か	5-1-ii)②と答えた方 どのような施設に情報提供しているか	5-1-ii)②と答えた方 どんな内容か
A	②入所施設によっては情報提供している		・有料老人ホーム、サ高住	
B	①全ケースに情報提供している	・基本情報、ケアプラン、利用者の性格、家族との連絡の取り方等。		
C	②入所施設によっては情報提供している(2)、③要望時には情報提供している(2)		・老健、有料老人ホーム、サ高住	・基本情報や入所に至った経緯、家族の情報など。在宅での本人の生活状況と子供や親族関係について説明する病状、通院状況、内服の事や金銭の管理について。
D	②入所施設によっては情報提供している		・有料老人ホーム、サ高住、要望のあった施設	・基本情報、利用状況など。
E	②入所施設によっては情報提供している(1)、③要望時には情報提供している(4)		・有料老人ホーム	・基本情報、サービスプラン等。

5-2) 高齢者等施設への入所時の情報共有の必要性をどのように思われますか

A	a.必要	
B	a.必要	・情報があれば施設側スタッフのケア方法など明確にできる。往診等に受診方法が変更になることが多いため、連携ができる。
C	a.必要(2)、b.必要ない(2)	・a回答者→最低限の情報は必要だとは思いますが、利用者によっては必要でないケースもあります。その人となりを知らないで介護する上でコミュニケーションがとれずらいと思います。 ・b回答者→施設と家族や本人がより良い人間関係を築いて生活していく上で、先入観をもたない方がいいと思うので、直接情報をとった方がいいと思う。在宅で使っていたサービスは変更になることが多いと思う。入所時、施設の聞き取りがあるので必要なし。
D	a.必要	・適切なケアのため、情報共有は必要と思う。
E	a.必要(4)、b.必要ない(1)	・a回答者→緊急時の連絡先、既往症、現病歴は必要。 ・b回答者→施設入所時に施設より家族へ詳細に聴きとりをするため、必要がないように思う。

6.連携体制充実に向けて

A	・入院先のSWとTELで話しができていますので、良い関係が続いていると思う。退院時サマリーを頂くので、情報は助かっている。わかりやすい。
B	・遠賀中間地域においては、比較的連携がとりやすいように感じる。他地域においては連携のとりづらい病院があり、毎回難儀している。(例:①コロナ禍であるため情報収集の手段がTELが主となる中、代表→病棟とTELを回されさんざん待たされた挙句、TELでは情報を伝えられない旨を言われる。②区変の日程が決定しているにもかかわらず、突然その直前に退院となるケースなど)